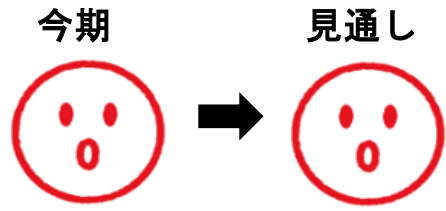


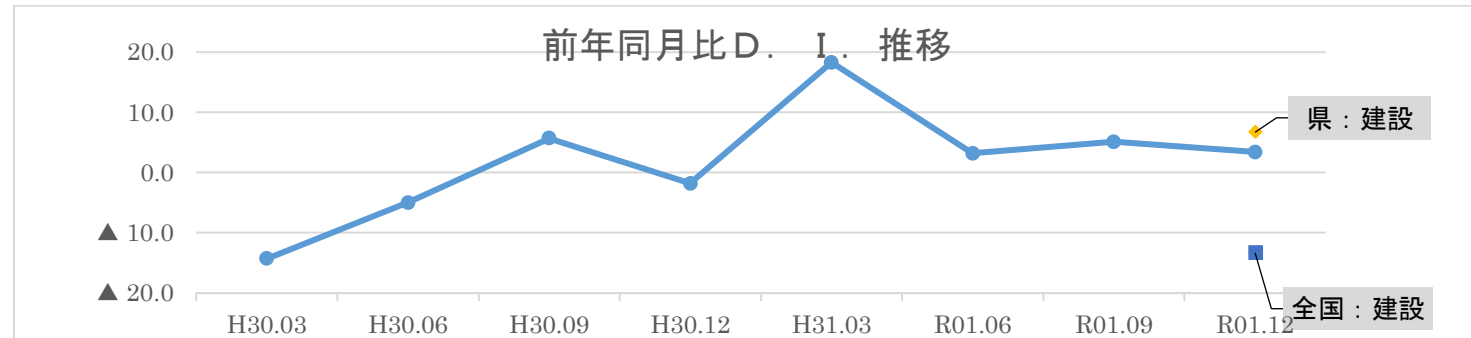
建設業

回答率：95.2% (59/62)

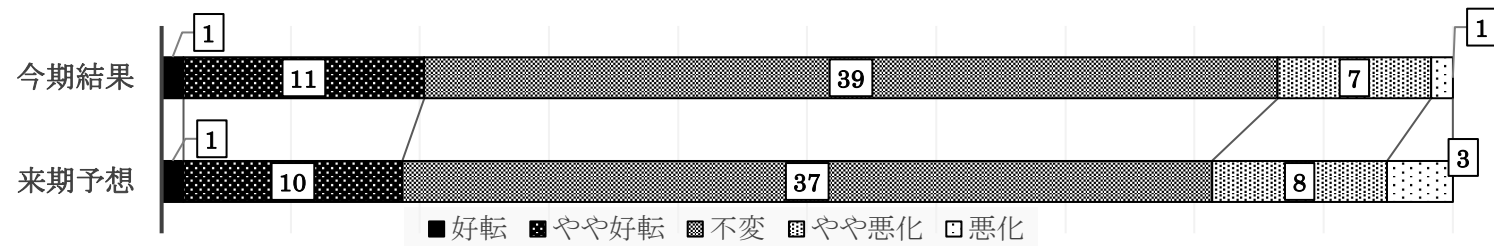


■丹波市の景況推移

相変わらず人材が不足している。受注は一定数あるが、思うような業績に繋げることが出来ていない。また、材料費も高騰気味であり、収益の悪化も懸念されている。



■丹波市の景況動向



【丹波市の今期の景況】

10月より消費税が増税されたものの、その影響は限定的であった。一方で、建設業界全体で人手不足が深刻化しており、需要の取りこぼしを指摘する事業所も見られた。

【丹波市の来期の景況予想】

人手不足は今後も継続する可能性が高い。その理由として、若い職人が育たず、また、熟練の職人が減っていくからであり、仕事があっても受注ができない状況は継続する見込みである。来期以降も全体の景気は伸び悩むと考えられる。

■全国の景況動向

消費税率の引き上げが響き持ち家を中心に住宅需要が低迷したほか、貸家の着工戸数減少も続いた。加えて、先行きへの不透明感から設備投資意欲が減退するなか、工場や店舗、事務所の着工数も減少。職人不足を背景とした受注機会の損失に加え、人件費および建材費が高値で推移し、厳しい収益環境が続いた。

■県下の景況動向

3月末までに完了する年度内工事などの公共工事受注などにより、前年比を若干上回る場所が多くみられた。住宅着工数の増加が見られない傾向が常態化しており、リフォーム事業での業績回復を強いられているが、芳しくない。

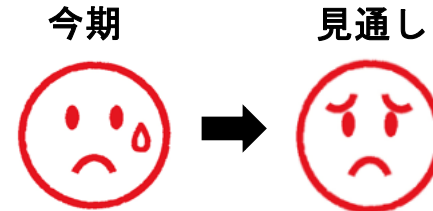
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	2	2	5	0	15	25.4%
不変	2	13	2	7	2	5	31	52.6%
悪い (悪化+やや悪化)	1	4	3	3	0	2	13	22.0%
合計	4	22	7	12	7	7	59	100.0%

製造業

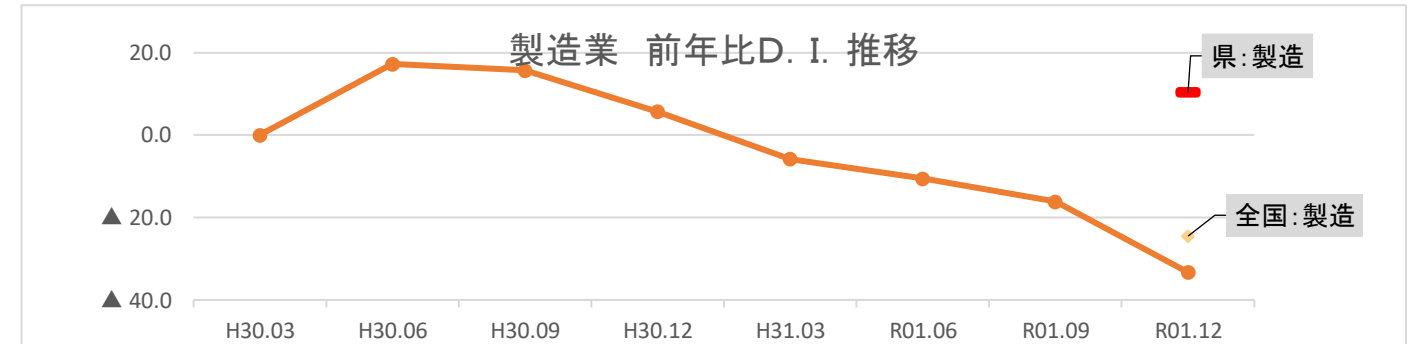
回答率：100.0% (57/57)

2019年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

丹波市内においても中東情勢の緊迫化の影響が徐々に出てきており、製造原価が上昇している。外部環境によって大きな影響を受けるため、先行きが不透明である。



■丹波市の景況動向



【丹波市の今期の景況】

消費増税の影響により、原材料・仕入れ値が高騰しており、収益を圧迫している。また、中国経済の停滞に伴う生産調整により、売り上げの低下を指摘する声もあった。

【丹波市の来期の景況予想】

中東情勢の緊迫に伴う原油価格の上昇により、収益の悪化を懸念する声が見られた。また、オリンピック需要の終了等の外的な要因により、受注も減少していくとの声もあった。

■全国の景況動向

消費税率引き上げによる住宅需要の落ち込みから家具や木材関連の悪化が継続した。繊維・繊維製品・服飾品製造は、暖冬による冬物衣類の需要減少で在庫が膨らんだほか、消費低迷を受けた春物の発注減少が悪影響を及ぼした。輸送用機械・器具製造は、世界的な新車販売の低迷を背景に部品製造が悪化した。

■県下の景況動向

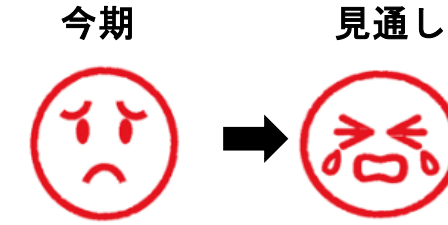
生産の微増傾向が続いており、売上高の前年比微増が多く見られた。先行きについては、生産活動が横ばいから微減になると感じている事業所が多く、その中でも、イランや中国など米国をとりまく外交・貿易問題などの関係悪化に不安を抱いている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	0	4	1	9	15.8%
不変	4	4	1	4	5	2	20	35.1%
悪い (悪化+やや悪化)	1	7	6	3	8	3	28	49.1%
合計	7	13	7	7	17	6	57	100.0%

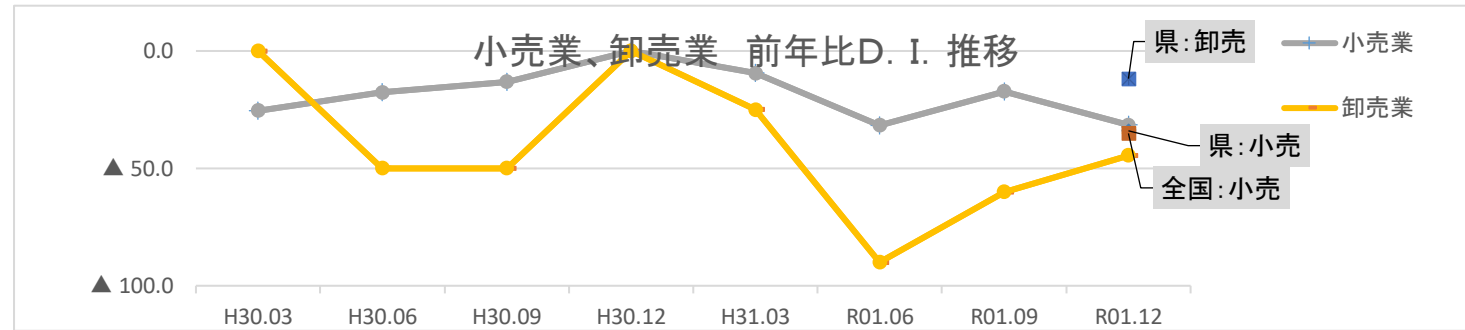
小売、卸売業

回答率：93.2% (69/74)



■丹波市の景況推移

消費税増税による売上げの低迷も一段落し、年末に掛けて回復傾向にあったが、業種によっては暖冬の影響により売上げを落としている事業所もある。



■丹波市の景気動向



【丹波市の今期の景況】

昨年同時期に比べ全体的に悪化しており、特にイラク中東情勢の悪化により原油の価格が高騰し、ガソリンスタンドの収益が悪化している他、暖冬の影響によりタイヤ販売店なども大きく悪化している。また増税の影響、人手不足、賃金上昇、市内の人口減などの影響から景気は悪化している。

【丹波市の来期の景況予想】

消費税増税の影響は一時的で徐々に売上を戻してきているが、暖冬の影響が来期以降も続くと、自動車関連、冬物販売の売上げが低迷するため、不安が残る。また全体的に国内消費の低迷が見られ、来期以降もそれが加速していくと考えられる。

■全国の景気動向

衣料品関係では消費税増税や暖冬の影響で供給超過になっている状況であり、また、機械器具関連では米中・日韓問題で客先の輸出が滞り、売上げが伸びない状況が続いている。

■県下の景気動向

暖冬の影響により冬物衣料の動きが悪い。また、クリスマス需要の盛り上がりには欠け消費の底上げに繋がっておらず、消費者ニーズの多様化が売上げに影響しているところもある。

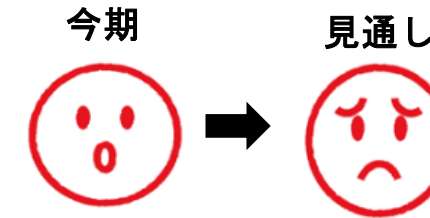
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	1	0	1	2	2	8	11.6%
不変	4	17	2	5	2	0	30	43.5%
悪い (悪化+やや悪化)	5	8	3	4	7	4	31	44.9%
合計	11	26	5	10	11	6	69	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

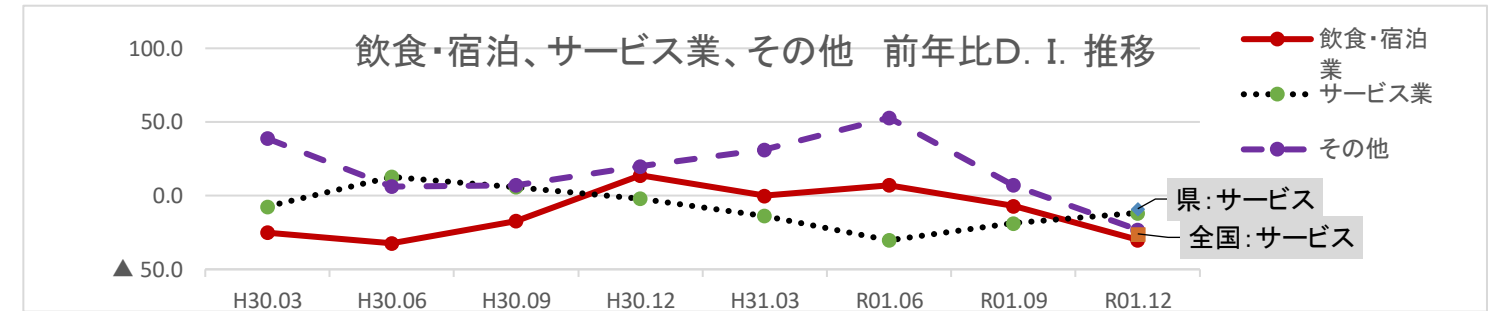
回答率：87.9% (94/107)

2019年10月～12月期調査

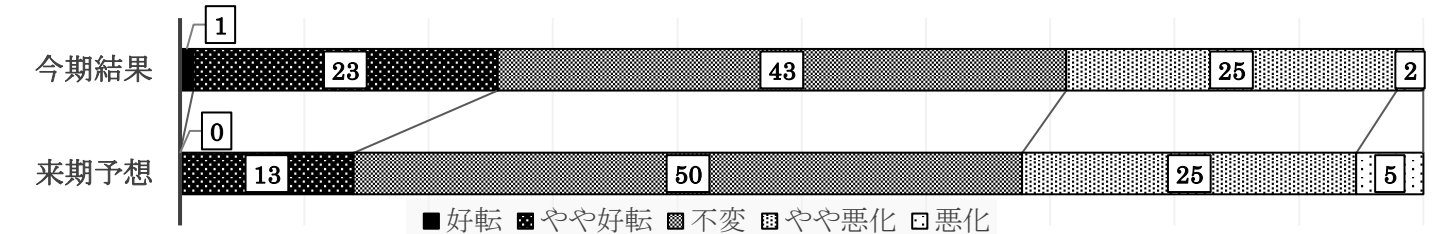


■丹波市の景況推移

消費税増税や運賃等コストの上昇により、価格の見直しを余儀なくされ一時的に客足が減少していたが、年末需要により売上げは回復傾向にある。



■丹波市の景気動向



【丹波市の今期の景況】

飲食、宿泊業など消費税増税の影響をモロに受け、客数が減少しているところが多い。年末にかけて客数を戻しているところもあるが、仕入れや運賃等の上昇により利益は全体的に減少している。

【丹波市の来期の景況予想】

今期のガソリン価格や暖冬が来期以降どうなるか不安定で、今期に続き利益を圧迫する不安が否めない。ただ、アウトドアやゴルフ関連事業は、暖冬の影響で丹波市へ足を運びやすくする要因にもなり、一定の客数は確保できている。

■全国の景気動向

忘年会の自粛など増税や災害等の影響による消費控えが見られた。地域によっては、暖冬少雪の影響で宿泊客のキャンセルが相次ぎ、関連する飲食業やクリーニング業にも波及しているなど、売上げに大きな影響を及ぼしている。

■県下の景気動向

宿泊関連では団体旅行は減少傾向にあるが、個人旅行は増加傾向にあり、貸し切りペンションなどのプライベートが確保できるような施設に需要が増えている。また、1月から宿泊補助等が県により実施されるため、暖冬の影響を受けた地域でも観光客の増加が期待されている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	3	7	1	0	2	3	16	17.0%
不変	8	14	3	7	7	5	44	46.8%
悪い (悪化+やや悪化)	10	8	4	6	1	5	34	36.2%
合計	21	29	8	13	10	13	94	100.0%